

品番 LGWC45030BZ LGWC45030SF
(オフブラック) (シルバーメタリック)
LGWC45030WZ LGWC45030YZ
(ホワイト) (プラチナメタリック)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



してはいけない内容です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがの
おそれがあります。

●ランプは器具表示のものを使用する

間違った種類、ワット数のランプを使用すると、
火災のおそれがあります。

注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。 設置して10年経つと、外観に異常が なくても内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」
に基づき自主点検してください。

●器具の取り外しは販売店、工事店に依頼 する

本体の取り外しには資格が必要です。



接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプやその周辺に さわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。



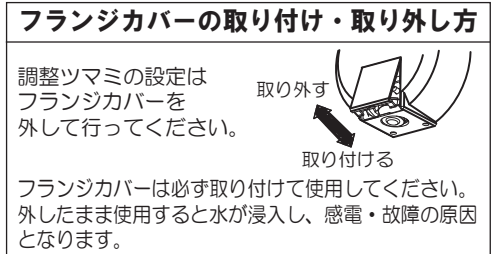
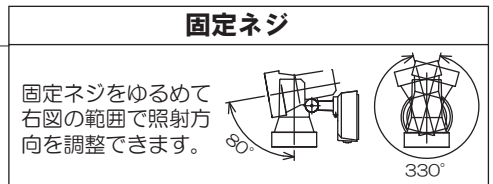
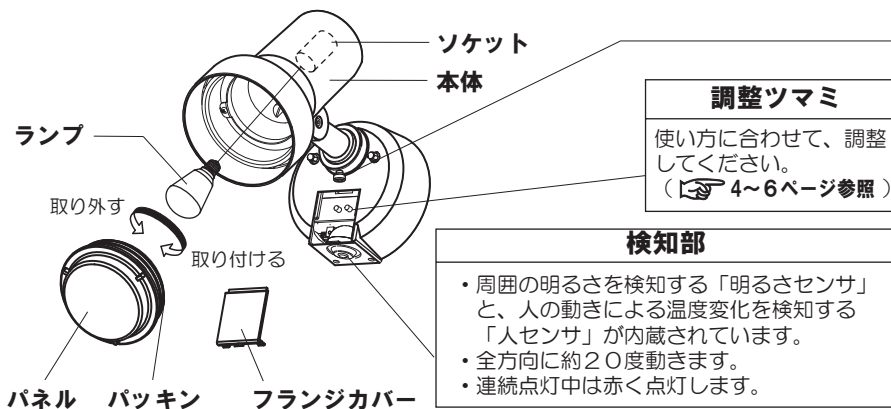
禁止

●器具に直射日光が当たる状態で点灯させない

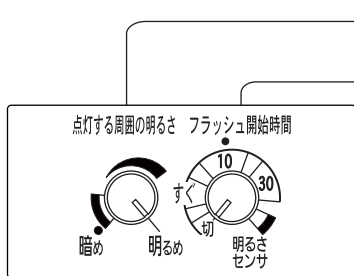
温度上昇によるランプの短寿命や一時的な
明るさ低下・不点灯の原因となります。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ



調整ツマミのはたらき



●**点灯する周囲の明るさツマミ**
周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。

- ・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
- ・昼間など明るいうちから動作させたい場合は、「」の表示の範囲でご使用ください。

(注) 右いっぱいに戻すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。人が検知範囲から外に出てから約5秒後に消灯し、検知範囲を確認するときのテストモードとなります。

●**フラッシュ開始時間ツマミ**

防犯すぐモード、防犯設定時間後モード (3, 5 ページ参照) で使用時、検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。

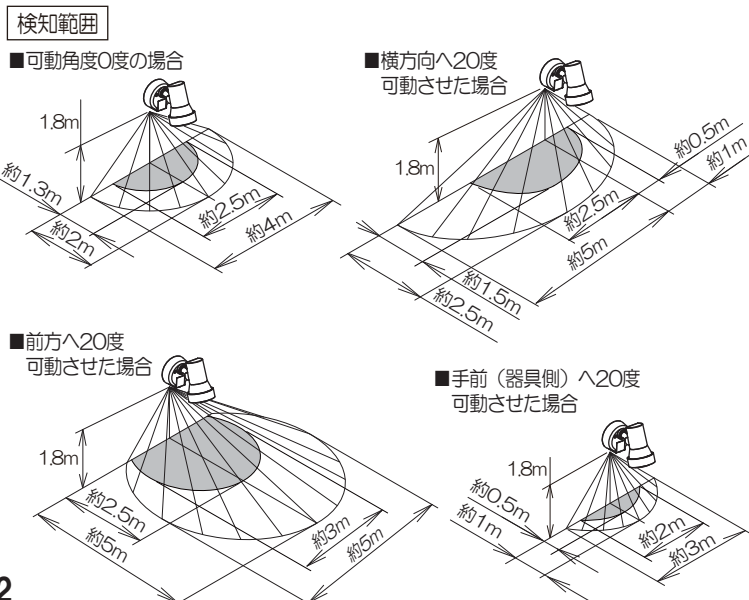
- ・「すぐ」、「10」秒後、「30」秒後から選べます。

ON/OFFモード (3, 5 ページ参照) で使用する場合は「切」に設定します。

明るさセンサモード (3, 6 ページ参照) で使用する場合は「明るさセンサ」にします。

センサの検知範囲

- 検知部は真下にした状態から全方向に約20° 可動します。
 - センサはおおよそ右図の「検知範囲」で検知します。
下図の「検知範囲」を参考にして検知部の角度を調整してください。
(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)
- (注) は別売エアアカットフード (HK279020) を取り付けた時の検知範囲です。



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

●**検知範囲が広がる場合**

- ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
- ・人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき

●**検知しない、検知感度が鈍い場合**

- ・人が静止しているとき
- ・周りが明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき

●**勝手に点灯する場合**

- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
- ・ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

使いかた

センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整ツマミを設定してください。4種類の使い方が選べます。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい → **防犯すぐモードの動作説明** 調整ツマミの設定方法 4ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作		→		→	
周囲が暗いとき 夜間の動作		→		→	

説明: 昼間、明るいときは消灯。人が近づくとすぐにフラッシング。約10秒間フラッシングした後、消灯。夜間、周囲が暗いときは消灯。人が近づくとすぐにフラッシング。約10秒間フラッシングした後、点灯したまま。人がいなくなると約1分後、消灯。

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい → **防犯設定時間後モードの動作説明** 調整ツマミの設定方法 4ページ

周囲が明るいとき 昼間の動作		→		→		→	
周囲が暗いとき 夜間の動作		→		→		→	

説明: 昼間、明るいときは消灯。人が近づいても照明は消灯のまま(検知部が赤く点滅)。人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注)。夜間、周囲が暗いときは消灯。人が近づくと照明が点灯。人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注)。約10秒間フラッシングした後、点灯したまま。人がいなくなると約1分後、消灯。

(注) 検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままではフラッシングを開始しません。

照明をフラッシングさせないで、普通の生活の明かりとして使いたい → **ON/OFFモードの動作説明** 調整ツマミの設定方法 5ページ

	→		→		→	
--	---	--	---	--	---	--

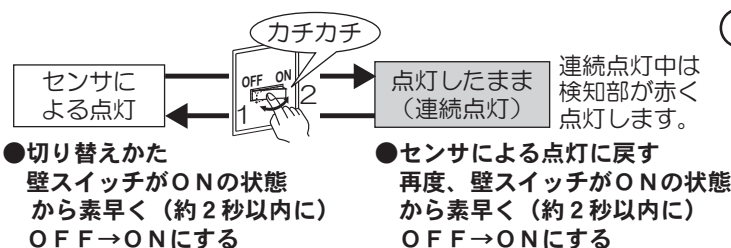
説明: 昼間、明るいときは消灯。周囲が暗くなっても人がいないときは消灯。人が近づくと照明が点灯。人がいなくなると約1分後、消灯。

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい → **明るさセンサモードの動作説明** 調整ツマミの設定方法 6ページ

	→		→	
--	---	--	---	--

説明: 昼間、明るいときは消灯。周囲が暗くなると自動的に点灯。暗い間は人がいてもいなくてもずっと点灯。

人がいないときも点灯したままにする (連続点灯)



- ×メモ
- ツマミで設定した明るさより周囲が暗いときだけ点灯状態を切り替えることができます。
 - 連続点灯のままにしても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
 - 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがあります。最長15時間でセンサでの点灯に戻ります。
 - 約2秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
 - 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

調整ツマミを設定する

防犯すぐモード・防犯設定時間後モードで使用する場合

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯にしたい → **防犯すぐモードの動作説明**

周囲が明るいとき 昼間の動作	<p>昼間、明るいときは消灯</p>	<p>人が近づくとすぐにフラッシング</p>	<p>約10秒間フラッシングした後、消灯</p>	
周囲が暗いとき 夜間の動作	<p>消灯</p>	<p>人が近づくとすぐにフラッシング</p>	<p>約10秒間フラッシングした後、点灯したまま</p>	<p>人がいなくなって約1分後、消灯</p>

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯にしたい → **防犯設定時間後モードの動作説明**

周囲が明るいとき 昼間の動作	<p>昼間、明るいときは消灯</p>	<p>人が近づいても照明は消灯のまま (検知部が赤く点滅)</p>	<p>人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注)</p>	<p>約10秒間フラッシングした後、消灯</p>	
周囲が暗いとき 夜間の動作	<p>消灯</p>	<p>人が近づくと照明が点灯</p>	<p>人が約10秒間、または約30秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング(注)</p>	<p>約10秒間フラッシングした後、点灯したまま</p>	<p>人がいなくなって約1分後、消灯</p>

調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

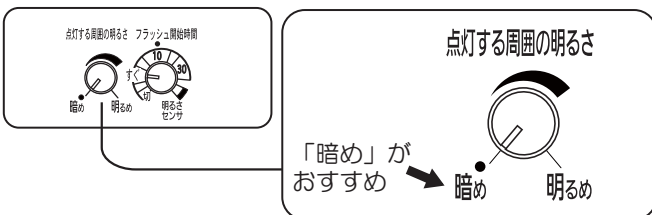
1 壁スイッチをOFFにする

2 フランジカバーを取り外す

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

「点灯する周囲の明るさ」ツマミで
どれくらい周囲が暗くなったら、
「昼間の動作」から「夜間の動作」
に切り替えるかを設定する

3

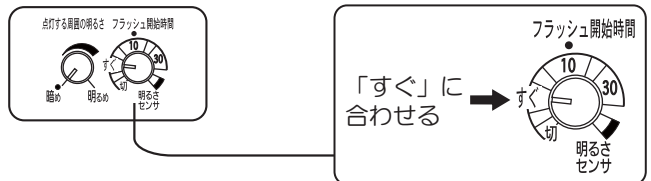


- 明るめ(右方向)に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。
(注) 右いっぱいに戻した状態で使用しないでください。「防犯すぐモード」、「防犯設定時間後モード」が正常に動作しません。

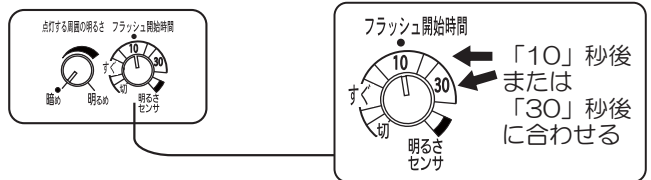
「フラッシュ開始時間」ツマミで
検知範囲に入って、どれくらい経ってから
照明をフラッシングさせるかを設定する

4

■ 防犯すぐモードで使う場合



■ 防犯設定時間後モードで使う場合



5 フランジカバーを取り付ける

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

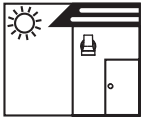
6 壁スイッチをONにする

- ➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。
● 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

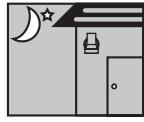
調整つまみを設定する

ON/OFFモードで使用する場合

照明をフラッシングさせないで、
普段の生活の明かりとして使いたい → ON/OFFモードの動作説明



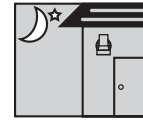
昼間、明るいときは
消灯



周囲が暗くなっても
人がいないときは消灯



人が近づくと照明が
点灯



人がいなくなって
約1分後、消灯

調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

4 「フラッシュ開始時間」つまみを「切」に設定する

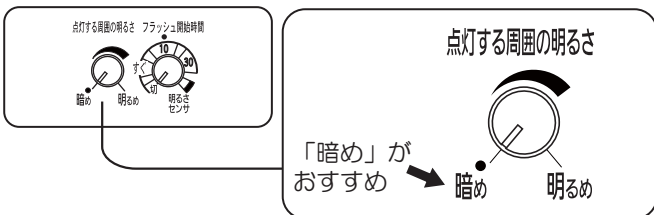
2 フランジカバーを取り外す

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

5 フランジカバーを取り付ける

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」つまみで どれくらい周囲が暗くなったら、人が 近づいたとき点灯させるかを設定する



- 明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから点灯が始まります。
- （注）右いっぱい回した状態で使用しないでください。「ON/OFFモード」が正常に動作しません。



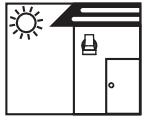
6 壁スイッチをONにする

➔ 壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間
点灯します。

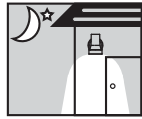
- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

→ 明るさセンサモードの動作説明



昼間、明るいときは消灯



周囲が暗くなると自動的に点灯



暗い間は人がいてもいなくてもずっと点灯

調整つまみの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

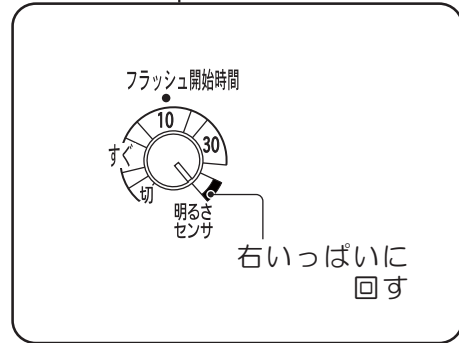
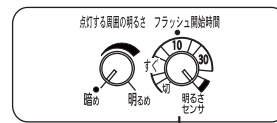
1 壁スイッチをOFFにする

4 「フラッシュ開始時間」つまみを右いっぱいに戻し「明るさセンサ」に設定する

2 フランジカバーを取り外す

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

4

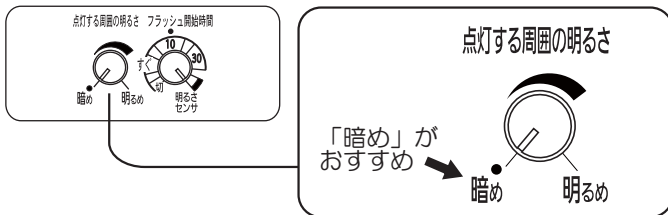


3 点灯する周囲の明るさを設定する

「点灯する周囲の明るさ」つまみでどれくらい周囲が暗くなったら、点灯が始まるかを設定する

5 フランジカバーを取り付ける

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照



●明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから点灯が始まります。

（注）右いっぱいに戻した状態で使用しないでください。「明るさセンサモード」が正常に動作しません。


6 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 検知部（ 2ページ）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的にはやわらかい布で清掃してください。

確認

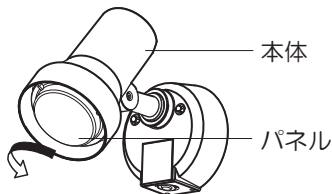
シンナー、ベンジンなどの揮発性のもののでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・破損の原因になります。

- ランプの明るさが低下すると、ランプの寿命です。ランプを交換してください。
- パナソニック製ランプをお買い求めください。●ランプは販売店、工事店にご注文ください。
- ランプの種類は器具に表示しています。白熱灯、電球形蛍光灯は使用できません。

ランプの交換方法

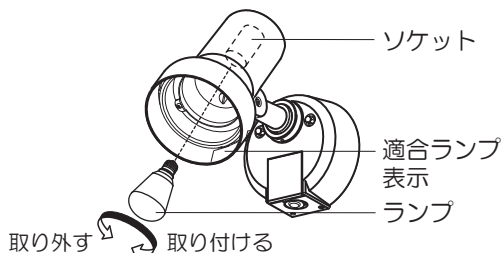
①パネルを取り外す

パネルを左に回す



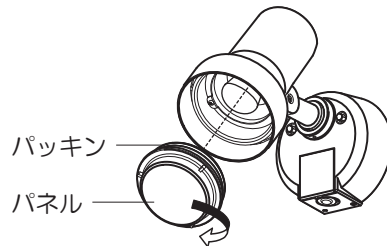
②ランプを交換する

- ① ランプを回し、ソケットから取り外す
- ② 新しいランプを取り付ける



③パネルを取り付ける

パネルにパッキンが取り付けられていることを確認し、パネルを取り付ける



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- LEDにはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- 非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
- 周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦スイッチをOFFにしてください。
【 壁スイッチについて 】
- 通常のご使用では、設定後は壁スイッチをONにしたままにしてください。
- 壁スイッチを一旦OFFにしても、再びONにすると、OFF前の点灯モードになります。但し、連続点灯の場合は、連続点灯前の設定になります。

仕様

付属ランプの品名はランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	7.6W (センサ待機時0.17W)	0.13A	LED電球一般電球タイプ7.6W (E26)	屋外用

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推測したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用照明器具

●品番 LGWC45030BZ LGWC45030SF
 LGWC45030WZ LGWC45030YZ

器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

故障かな？と思ったら 下表に従って点検してください

●各モード共通

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯（またはフラッシング）しない	壁スイッチOFFになっている	壁スイッチをONにする。	—
	ランプが切れている	ランプを交換する。	7ページ ☞「お手入れ・ランプ交換」
	人が静止している	静止している人は検知しません。	2ページ ☞「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯（またはフラッシング）する (検知部が赤く点灯していない)	検知範囲に人以外の熱源がある。 例) 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	故障ではありません。 センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯（またはフラッシング）することがあります。	2ページ ☞「センサの検知範囲」
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯する (検知部が赤く点滅している)	電源を投入した直後である	故障ではありません。 電源を投入した直後、約40秒間は必ず点灯します。	—
	停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している (検知部が赤く点灯している)	壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	壁スイッチを素早くOFF→ONに（約2秒以内）すると、センサでの点灯に戻ります。 (検知部が赤く点灯しているのが消えます)	3ページ ☞「人がいないときも点灯したままにする（連続点灯）」
	短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する。	2ページ ☞「センサの検知範囲」
	検知部に汚れや水滴などが附着している	検知部をやわらかい布などでふく。	7ページ ☞「お手入れ・ランプ交換」
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません。	2ページ ☞「センサの検知範囲」
点灯保持時間が短い	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが明るめ右いっぱいになっている	ツマミを一旦左いっぱいまで回して右いっぱいの位置以外で使用する	2ページ ☞「調整ツマミのはたらき」

●防犯すぐモードで使用している場合

一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	—
周囲が明るいのに、人が近づくとフラッシングする	故障ではありません。「防犯すぐモード」で使用している場合は、周囲が明るいときも人が近づくとフラッシングします。		4ページ ☞「調整ツマミを設定する」

●防犯設定時間後モードで使用している場合

検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	検知範囲を素早く通り過ぎた	故障ではありません。 検知範囲を素早く通り過ぎた場合は、設定時間を過ぎてても、照明はフラッシングしません。	4ページ ☞「調整ツマミを設定する」
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	—
周囲が明るいのに、人が近づくとフラッシングする	故障ではありません。「防犯設定時間後モード」で使用している場合は、周囲が明るいときも設定時間、器具の検知範囲内で動きつづけるとフラッシングします。		4ページ ☞「調整ツマミを設定する」

●ON/OFFモードで使用している場合

周囲が明るいのに人が近づくと照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す	5ページ ☞「調整ツマミを設定する」
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯しない	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」の方向に回す	

●明るさセンサモードで使用している場合

周囲が明るいのに点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す	6ページ ☞「調整ツマミを設定する」
--------------	---------------------------	--------------------------	-----------------------

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切る
- ②約10秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙ご相談窓口にご相談ください